

産地生産基盤パワーアップ事業評価書

都道府県名	事業実施 地区数 (ア)	評価対象 外地区数 (イ)	評価対象 地区数 (ア-イ)	成果目標の平均達成率 ※	評価対象地 区数のうち、都道府 県が地域協 議会へ改善 指導を必要 とした地区 数	地方農政局 等から都道 府県計画の 改善指導の 必要の有無	【参考】 評価対象地 区数のうち、達成率 80未満の地 区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
新潟県	14	7	7	71.4%	2	有	2	7地区中5件において、目標を達成した。一方で、目標を達成した5件のうち、2件については、目標の総出荷量を達成できなかったことから引き続き改善を図る。 目標を達成できなかった2地区については、①新潟市南区農業再生協議会のえだまめ選果施設選別設備における目標項目「販売額の10%以上の増加」、②津南町地域農業再生協議会のライスセンターにおける目標項目「集出荷・加工コストの10%以上の削減」である。 ①えだまめの販売額の増加が進まなかった要因としては、主に関東向け出荷において、(ア)適期に収穫できず7月末～8月上旬に荷が集中したこと、(イ)コロナ禍の影響で量販店での需要が減少し、単価が下がったことなどがあげられる。また、生産者が水稻の播種作業と時期が重なる早生品種の作付け増を避け中生品種拡大に希望が集中する中で、中生の系14号の種子産地での発芽不良により種子が不足し、えだまめ作付面積は前年より減少した。今後、(ア)早生品種・晩生品種の面積拡大による継続的安定出荷、(イ)防除の徹底による品質の向上等により販売価格の向上を図ることが必要であり、関係機関・団体と連携し、(ア)巡回指導の強化、(イ)新規生産者の技術習得、(ウ)品種構成の適正化、(エ)選別現場の確認・指導を進める。 ②ライスセンターの集出荷・加工コスト削減が進まなかった要因としては、施設の修繕費用が一時的に嵩んだこと、また、作柄不良により当年産米の収穫量が減少したこと、大規模経営体等利用者が個人乾燥機利用を優先し、当該施設利用量が減少したことがあげられる。修繕コストは一時的なものであるものの、集積が進む担い手経営体等大口利用者への丁寧な説明などにより利用促進に向けた取組を進める。	未達成の主要因は、えだまめは、①コロナ禍の影響による需要減少、②水稻との作業競合による作付減少、水稻は、天候不順等の気象要因による減収及びコスト削減が確保できず、一部では栽培管理等の徹底が不十分であったこと等が考えられる。 今後、安定的な生産を確保し、関係者が連携した取組による目標の達成を図るため、実効性のある改善措置を講ずる必要性があることから、県に対して、改善措置の提出を求める。
富山県	13	6	7	57.1%	3	有	3	評価対象7地区のうち4地区で成果目標を達成したものの、米価低迷や資材費高騰等の影響により一部地区の達成率が低迷し、平均達成率も低くなった。未達成地区の目標達成に向け、今後も関係機関が連携した指導・支援を行う。	未達成の主要因は、想定以上の肥料等の資材高騰、天候不順等の気象要因により、計画した収量の確保及びコスト削減が確保できず、さらに一部地区では栽培管理等の徹底が不十分であったこと等が考えられる。 今後、安定的な生産を確保し、関係者が連携した取組による目標の達成を図るため、実効性のある改善措置を講ずる必要性があることから、県に対して、改善措置の提出を求める。

産地生産基盤パワーアップ事業評価書

都道府県名	事業実施 地区数 (ア)	評価対象 外地区数 (イ)	評価対象 地区数 (ア-イ)	成果目標の平均達成率 ※	評価対象地 区数のうち、都道府 県が地域協 議会へ改善 指導を必要 とした地区 数	地方農政局 等から都道 府県計画の 改善指導の 必要の有無	【参考】 評価対象地 区数のうち、達成率 80未満の地 区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
石川県	29	17	12	59.4%	6	有	6	目標年度に該当する6地区については、導入した施設や機械の効率的な利用により、目標を達成することができた。目標を達成できなかった6地区については、更なる面積拡大や生産量の増加、コスト削減を図り、また県の普及指導員、石川県経営構造対策事業推進委員による巡回、指導、助言を行うなどにより、目標達成できるよう指導していく。	未達成の主要因は、天候不順等により収量確保やコスト削減が計画どおりできなかったほか、一部では栽培管理等が不十分であった。併せてコロナ等を背景に契約先との結びつきが不十分であったこと等が考えられる。 今後、安定的な生産を確保し、関係者が連携した取組による目標の達成を図るため、実効性のある改善措置を講ずる必要性があることから、県に対して、改善措置の提出を求める。
福井県	8	6	2	20.8%	2	有	2	米価の低迷により、厳しい状況にあるが、産地パワーアップ計画における成果目標に達していない地域協議会については、原因と改善すべき点を追求するように求め、目標年度までに達成できるよう指導する。また、すでに成果目標に達している地域協議会については、引き続き達成状況を維持できるように、計画的な取り組みを求める。	未達成の主要因は、一部生産者の面積拡大が思ったより進まなかったことや米価下落等により、計画した品種の作付け及びコスト削減が確保できなかったこと等が考えられる。 今後、安定的な生産を確保し、関係者が連携した取組による目標の達成を図るため、実効性のある改善措置を講ずる必要性があることから、県に対して、改善措置の提出を求める。

※小数点第1位まで記載する

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会

【北陸農政局】

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R3)	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
新潟県	新潟市	新潟市南区農業再生協議会	25	えだまめ	②-a販売額の10%以上の増加 (目標:11.7%増加)	283,720円/10a (H30)	316,930円/10a	247,291円/10a	-109.7%	○えだまめの10a当たり販売額は247,291円(達成率▲109.7%)となり、目標を達成することはできなかった。 目標を達成できなかった要因としては、主に関東向け出荷において、①適期に収穫できず7月末～8月上旬に荷が集中したこと、②コロナ禍の影響で量販店での需要が減少し、単価が下がったことなどがあげられる。 また、生産者が水稲の播種作業と時期が重なる早生品種の作付け増を避け中生品種拡大に希望が集中する中で、中生の系14号の種子産地での発芽不良により種子が不足し、えだまめ作付面積は前年より減少した。 今後、①早生品種・晩生品種の面積拡大による継続的安定出荷、②防除の徹底による品質の向上等により販売価格の向上を図ることが必要である。具体的な対応としては、関係機関・団体と連携し、①巡回指導の強化、②新規生産者の技術習得、③品種構成の適正化、④選別現場の確認・指導などが必要である。 ○また、施設利用率については、61.6%とやや低調であり、えだまめの作付面積、収量の確保により集荷量を確保することが必要である。
新潟県	津南町	津南町地域農業再生協議会	28	水稲	①-b生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減 (目標:13.7%削減)	7,580円/10a (R1)	6,545円/10a	9,159円/10a	-152.6%	○10a当たりのライスセンターの集出荷・加工コストは9,159円(達成率▲152.6%)となり、目標を達成することができなかった。 要因としては、施設の修繕費用が一時的に嵩んだこと、また、作柄不良により当年産米の収穫量が減少したこと、大規模経営体等利用者が個人乾燥機利用を優先し、当該施設利用量が減少したことがあげられる。 修繕コストは一時的なものであるものの、集積が進む担い手経営体等大口利用者への丁寧な説明などにより利用促進に向けた取組を進めることが必要である。 ○なお、施設利用率は76.7%と一定の稼働率(70%以上)を確保できている。
富山県	富山市	富山市農業再生協議会	6	大麦種子	①-a生産コスト10%以上削減 (目標:10.1%削減)	46,218円/10a (H30)	41,567円/10a	48,180円/10a	-42.2%	一時的な農機具の修繕費のほか肥料高騰等の影響により生産コスト削減の目標が未達成となっている。面積拡大(目標19.5ha)及び修繕費や肥料費等の削減に係る指導・支援を進める。
富山県	富山市	富山市農業再生協議会	5	水稲	②-a販売額の10%以上増加 (目標:11.2%増加)	82,811円/10a (H28)	92,096円/10a	73,164円/10a	-103.9%	天候不順や栽培管理の不徹底を要因とした単収の低下(428kg/10a→351kg/10a)等により目標を下回っている。関係機関と連携し、単収向上に向けた指導・支援を進める。
富山県	高岡市	高岡市農業再生協議会	3	水稲	②-b所得額10%以上増加 (目標:10.0%増加)	13,166千円 (H30)	14,483千円	-8,367千円	-1635.5%	米価下落や資材費高騰等により小規模生産者を中心に所得が減り、目標を下回った。一層の農地集積と単収向上に向けた指導・支援を進める。
石川県	川北町	川北町農業活性化協議会	1	大豆	②-a販売額の10%以上の増加 (目標:13.7%増加)	18,381円/10a (H30)	20,900円/10a	18,495円/10a	4.5%	目標の作付面積は達成しており、収量確保が課題。基幹作業(苗立ち確保、培土、防除、畝間灌水、適期収穫)の遵守による、生育量の確保及び単収の向上を指導する。
石川県	珠洲市	珠洲市農業活性化協議会	3	ブロッコリー	②-a販売額の10%以上の増加 (目標:59.1%増加)	53,501,000円 (H27～29平均)	85,146,000円	67,057,817円	42.8%	高温障害による花蕾品質低下により成果目標未達成となった。今後、達成に向けて、引き続き栽培講習会による品質向上及び圃場巡回指導による単収向上を指導する。
石川県	能美市、川北町	能美市農業活性化協議会	2	たまねぎ	②-a販売額の10%以上の増加 (目標:12.2%増加)	212,190円/10a (H31)	238,000円/10a	157,372円/10a	-212%	目標の作付面積はおおむね達成しており、収量確保が課題。適正な肥培管理、収穫作業の効率化、十分な乾燥調製によって、商品化率と反収の向上による販売収入の増加につなげるよう指導する。
石川県	かほく市	河北郡市農業活性化協議会	14	水稲	③契約栽培の割合10%以上増加かつ50%以上 (目標:67.3%増加)	0% (H29)	67.3%	50.4%	75.0%	R3年度の契約取引量は、前年より増加したが、目標は未達成となった。契約取引量の増加を引き続き指導していきたい。
石川県	白山市	白山市農業活性化協議会	5	水稲	③契約栽培の割合10%以上の増加かつ50%以上 (目標:15.2%増加)	56.5% (H30)	71.7%	54.9%	-10.5%	本年度は、圃場整備の影響により作付けが制限されたが、今後は当初計画並に作付けが行われ、集荷数量の増加が予想され、合わせて契約販売の推進を強化し目標達成を指導したい。

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会

【北陸農政局】

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R3)	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
石川県	宝達志水町	宝達志水町農業活性化協議会	2	水稻・飼料用米	⑥労働生産性10%以上の向上 (目標:25.3%向上)	15,473円/h (H30)	19,388円/h	11,960円/h	-89.7%	米価下落が売上高の伸び悩みの要因となっているが、主食用米の販売単価は事業開始時よりも増加している。引き続き、品質向上に向けた栽培管理指導を行うとともに、導入したICT機能付き農業機械を活用し、労働生産性の向上に努め、目標達成につなげたい。増収に向けて、多収性品種の導入についても検討する。
福井県	南越前町	南越前町農業再生協議会	1	水稻	②-a販売額の10%以上の増加 (目標:14.4%増加)	90千円/10a (H30)	103千円/10a	95.4千円/10a	41.5%	各生産者による作付けは、面積の拡大や生産量にばらつきがあり、一部の生産者の面積が減少している。また、販売額は米価下落により減少傾向にある。来年度は目標を達成できるよう、生育に応じた追肥・水管理等の栽培管理の徹底を指導していくことで全体的に収量を増加させることによる、販売価格の増加を目指す取組を支援する。
福井県	敦賀市	敦賀市農業再生協議会	1	水稻	②-a販売額の10%以上の増加 (目標:10.0%増加)	627,077千円 (H30)	689,931千円	547,467千円	-126.7%	本計画の改善に向け、JA福井県、嶺南振興局二州農林部、敦賀市等と連携をとり、未達理由となった、主食用米(いちほまれ、あきさかり)の面積拡大不足を改善するため、苗代補助等面積拡大策を講じることによる、販売額の増加を目指す取組を支援する。

(注)1. 本表は、要領第16の4により、都道府県が改善措置の指導が必要とした地域協議会のうち、成果目標の達成率が80%に満たなかった地域協議会(要領第17の2関係)について記入する。

2. 実績欄は、地域(県又は国を含む)の販売単価による価格補正を行っている場合は価格補正後の実績を記入する。